

勝利の信仰

何の夢があって統一教会に来たのでしょうか？人間らしく生きたいという夢を持ってきました。何が価値ある人生なのか考えてみましょう。病気を持っている方は元気に生きるという事になりますし、アフリカのように食べることが出来ない方は食べる事が出来るように願います。また戦争がない生き方はないのかと考える事もそうです。そして過去の内容を教訓にしていかなければならないという事もわかります。私たちはこのみ言に出会い、「人生をかけてみよう」と思ったと思います。しかし私たちの環境は、逆の立場が多くあります。見えない世界の逆の勢力が多くあります。恨みの霊と言うのは幸せを妬み邪魔をしてきます。広くて楽な道は沢山の人がいきますが、狭くて細い道は、実は命の道なのです。ですが当然そのように天と一緒にする道は簡単ではありません。何かをやろうとする人には反対の勢力があるのです。心だけは変わってはいけません。最初の信仰を失ってはならないのです。

勝利者のイスラエルの名前をもらったのはヤコブでした。信仰によって長子権を復帰していましたが、私たちも参考にする内容があるのです。母子協助、妻による協助によって勝利ができました。そのような基台を作ることが必要なのです。最後に天使が来て邪魔をしてきます。ここで失敗すればすべてが水の泡です。しかし決してあきらめず、腿のつがいが外れてもあきらめませんでした。お父様も絶対あきらめませんでした。その精神が大切です。

私の力でここに来たわけではありません。神様によって拾われた立場を忘れてはいけません。神様が私たちを召命してくださいました。ただ実践するかどうかは私たちの責任です。私よりも神様がよくわかっているのです。ですから神様は必要な私たちを呼んで下さったのです。まず自分を信じる事です。信じる事を諦めなければ時間がかかったとしても神様は私たちの道を開いてくださるので。私たちが勝利者になろうとしているどうかなのです。そうであれば自分を信じる事です。神様を信じるとともに自分を信じる事です。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 健康講演会

日程 2014年12月24日(木)10:30～
場所 浦和教会

3. 第7回 天一国フェスティバル

日程 2014年12月28日(日)開場13:45 開会14:30
場所 さいたま市文化センター

4. 聖所巡礼のみ言50周年記念初詣早稲田・高田馬場聖所巡礼

日時:2015年1月1日午前10時集合～1時半ごろまで
高田馬場駅スタート時間は、2015年1月1日午前11時11分11秒
(イイ月イイ日イイ時間イイ分イイ秒の意味)といたします。

集合場所:JR 高田馬場駅東口ロータリー広場

巡礼コース:高田馬場駅～UC 創立の地「雄鶏舎」跡～

旧戸塚警察署跡～下宿先の三橋家～早稲田大学

訓読本:「文鮮明自叙伝増補版」及び冊子「ゆかりの地を訪ねて」

必携:FM ラジオを解説用に使用しますので必ずご持参下さい。

参加申し込み:記念品贈呈のため人数把握が必要です。

12月29日(月)が締切になります。

5. 2015年度平愛奨学生の募集について

1. 日本の高校生: 100名
 - A) 成績優秀者: 30名 学業成績において優秀な者
 - B) 活動優良者: 20名 教会・各種活動において優良な者
 - C) 福祉対象者: 50名 生活に困窮する者
 2. 日本の大学生: 150名
 - A) 成績優秀者: 30名 学業成績において優秀な者
 - B) 活動優良者: 20名 教会・各種活動において優良な者
 - C) 福祉対象者: 100名 生活に困窮する者
- 奨学生申請書提出(2014年12月下旬)



【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774/Fax: 048-886-8799
E-mail: uc.urawa@gmail.com

クリスマス礼拝式次第



説教者：李 炯燮教区長

司会者：田川 敏

伴奏者：

開	会	司会者
黙	禱	全 体
※聖	歌 聖歌 5番	全 体
※敬	拝	全 体
※家	庭 盟 誓	全 体
※年	頭 標 語	全 体
代	表 報 告 祈 禱	白石晴美
聖	歌	聖歌隊
み	言 訓 読	全 体
説	教	真の父母とメシヤ	
※聖	歌と献金 聖歌 49番	全 体
※祝	禱	執礼者
エン	ター ティ メ ン ト	全 体
食	事 会	全 体
閉	会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

統一教会の教会員たちは、キリスト教と関係がないと思っていますが、それは絶対に間違っています。旧約時代も、結局は復帰のためのものであり、アダムとエバ、真の父母復帰のためのものです。新約時代も、真の父母の復帰のためのものであり、成約時代も同じです。真の父母の復帰という内容は同じです。メシヤは真の父母です。したがって、キリスト教も、ユダヤ教も、統一教会も、その目的とする内容は同じです。

それでは、違うこととは何でしょうか。ユダヤ教は、国家的次元でメシヤを迎えようとしてきました。国家的次元で真の父母を迎え、世界へ拡大することが目的でした。キリスト教はどうでしょうか。イエス様が逝かれたのち、世界的な基盤でメシヤ、真の父母を迎えるためのものです。成約時代とは何でしょうか。これは天宙的です。霊界まで真の父母を迎えるようにしようというのです。次元が違います。それをはっきりと区別しなければなりません。

～ 天聖經 第二篇 真の父母 第二章 真の父母とメシヤ ～



統一運動

久保木初代会長らの「合同追慕礼拝」を開催

天暦10月24日(陽暦12月15日)午前10時半から教会本部礼拝堂で、日本統一教会の礎を築き、教会の発展に多大な貢献をした先輩家庭を偲ぶ「合同追慕礼拝」が行われました。今回で2回目となった追慕礼拝は、久保木修己・日本統一教会初代会長、櫻井設雄・第5代会長、石井光治・第6代会長、梶栗玄太郎・第12代会長のほか、「三役事」の松本道子役事、金成治子役事、林信子役事、43双祝福家庭の大山高誉・方美先生夫妻の9人の歩みを振り返り、天に対する「絶対忠誠」の精神を相統する貴重な時間となりました。続いて、地方巡回中の宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長に代わり、李海玉総会長夫人が特別メッセージを述べました。李海玉総会長夫人は「(今回追慕される方々は)地上でたくさん“種”を蒔き、(実績をつくって)たくさんの“刈り入れ”をしていかれた方々です」と説明。「私たちが霊界で真の父母様の前に立ったとき、それは喜びの日になるでしょうか、苦しみの日になるでしょうか。私たちの前にはまだチャンスが残っていることは、とても感謝なことです」と語り、残された人生で悔いのない歩みをしていきたいと思いますと呼び掛けました。



2014年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2014年 活動指針

1. 伝道の飛躍的發展
2. 真の家庭運動の推進
3. 二世圏伝道・教育強化
4. 新氏族的メシヤ活動推進